

床暖房コントローラ

施工要領書形名:T-DFCN152/151

1. 安全上の注意

●禁止 ●指示



警告

以下は、「死亡または重症を負う可能性がある内容です」

- 機器の分解・改造・修理をしないでください
- 感電、火災、故障のおそれがあります。
- 内部の点検・修理などは販売店へご相談ください。
- 水などをかけないでください
- 感電、火災、故障のおそれがあります。
- 湿気の多い場所で使用しないでください
- 感電、火災、故障のおそれがあります。
- 耐圧、絶縁メカニクスは、主回路(ヒータ用出力)の充電部一括とアース間のみ行って下さい
- その他の部分でのテストは、事故の原因となりますので、絶対に行わないで下さい。
- 定格電圧、定格電流を必ず守ってください
- 異常加熱、火災、故障のおそれがあります。



注意

以下は、「傷害を負うか物的損害が発生する可能性がある内容です」

- 高い位置から落下したり、たいたたりしないでください
- 故障に伴う漏電により、感電、火災のおそれがあります。
- 直射日光、高温、多湿、塵埃、引火性ガス、腐食性ガス、振動、故障、誤作動のおそれがあります。
- 機器表面を水やアルコール等の薬品で拭かないでください
- 漏電による感電、火災のおそれがあります。
- コントローラのスイッチをこたつたもので操作しないでください
- 表面ジャケットに穴が開き、感電、火災のおそれがあります。
- 濡れた手でスイッチの操作をしないでください
- 感電、火災のおそれがあります。
- 本製品を床暖房以外の用途に使用しないでください
- 誤作動、火災のおそれがあります。
- 電子基板やコネクタに直接触れたり、異物を付着させないで下さい。
- 取付ねじは、確実に締め付けて落下、衝撃のかからないようにしてご使用下さい。
- 取付ねじを締め付ける際は、電線の収まりに注意し、無理のないよう締め付けて下さい。製品に反りが生じると誤動作の原因となります。
- スイッチボックス使用時は、製品の発熱をおさえるため、ノックアウト穴は未使用部分も含めて全て取り外した状態で使用して下さい。
- 主回路とセンサ回路、誤動作の原因になりますので混在しないよう分離して配線して下さい。
- 電線に無理な力がかわらないよう電線にゆとりを持って配線して下さい。
- 電源と負荷側の逆接続は、事故の原因となりますので絶対にしないで下さい。
- スクレーレス端子台には、指定の線径、剥き線長を守り、確実に奥まで差し込んで下さい。挿し込み後、軽く引っ張り抜けないことを確認して下さい。
- 本製品は運転中、若干動作音かします。音が気になる場所(寝室の枕元など)への取り付けは避けてください。
- 電線に傷があると発熱の原因となりますので、差し込む前に傷などがないかを確認下さい。
- 充電部分に触れる場合は、感電しますので、必ず電源を切って無電圧の状態にしてから触れて下さい。

2. 施工

1) 壁に縦100mm、横100mmの角穴を開けて下さい。(図1)

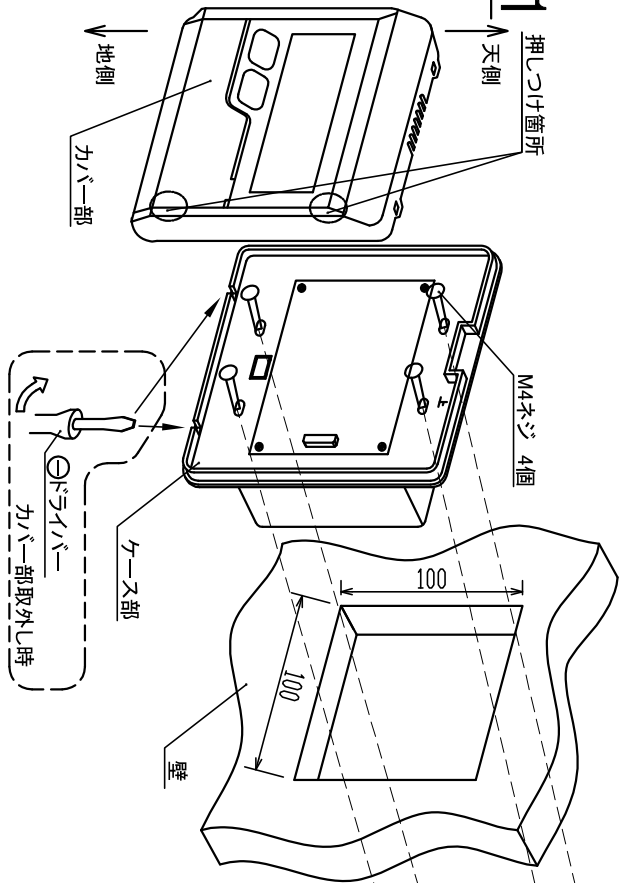


図1 取付全体図

2) 下記電線をケース部に配線して下さい。(図2)

a.電源電線及びヒータ用電線(11, 12, 21, 22, 13, 14, 23, 24)

①単線φ1.6mm～2.0mmを14mm皮むきして下さい。皮むき線長14mmは厳守して下さい。ヒータ回路につき、皮むき線長が短いと接触不良、長いと他回路とのショートにより発熱し危険です。

②挿入感があるまでしっかりと奥まで差し込んで下さい。(図3)

ヒータ回路につき、奥まで挿さないと接触不良により発熱し危険です。

③挿入後、軽く引っ張り抜けないことを確認して下さい。

※1回路のみ使用の場合は、必ずヒータ1に接続して下さい。

※2回路使用の場合は、必ずヒータ2用電源を接続して下さい。

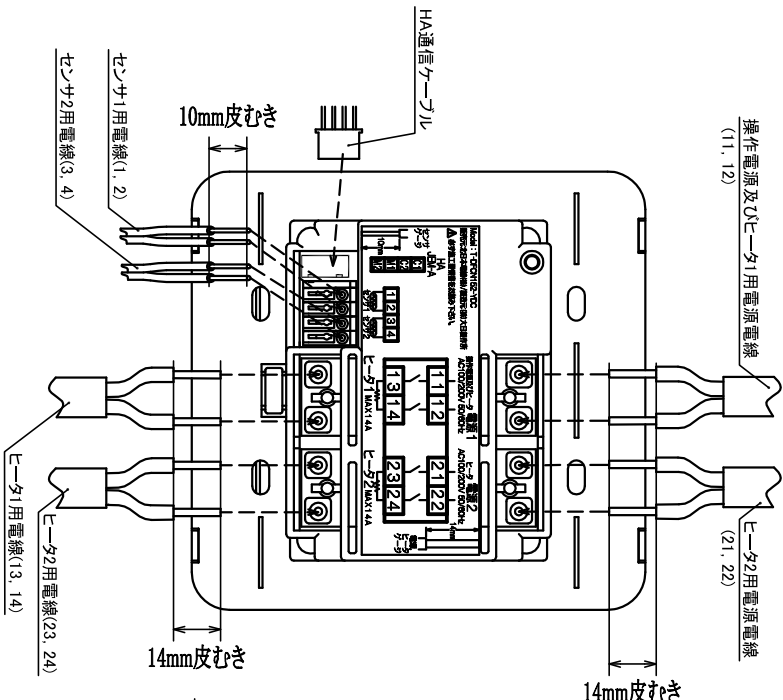


図2 配線詳細図

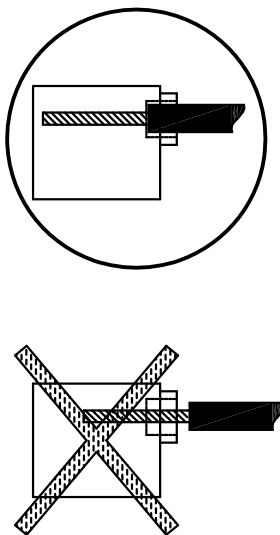


図3 電線差込み例

b.センサ用電線(1, 2, 3, 4)

- ①温度センサは弊社指定のものを必ずご使用下さい。延長する場合は、単線φ0.4～1.2mm、燃線0.2～0.75mmのものをご使用下さい。10mm皮むきされていることを確認して下さい。
- ②白いレバーを押しながら、しっかりと奥まで差し込んで下さい。(図4)
- ③挿入後、レバーを離し、軽く引っ張り抜けないことを確認して下さい。

【注意事項】

- T-DFCN152-YDCのセンサ線は「センサ1」と「センサ2」に必ず接続して下さい。『センサ1』または「センサ2」の1箇所しか接続していない場合、センサ断線エラー(E2.1 or E2.2)が発生し、運転できませんのでご注意ください。また、センサ1と2を入れ違いに接続しますと、正常に温度制御が行われないため、床温度過昇エラー(E1.1 or E1.2)が発生しますのでご注意ください。
- T-DFCN151-YDCのセンサ線は「センサ1」へ接続して下さい。『センサ1』へ接続しないと、センサ断線エラー(E2.1)が発生し、運転できませんのでご注意ください。
- c.HA通信ケーブル(C1, C2, M1, M2)

HA機能を使用する場合は、HA通信ケーブルをHA(JEM-A)端子に接続して下さい。

3)ケース部を2個用スイッチボックスに、もしくははさみ金具などを用いて壁に取り付けて下さい。(図1)

取付ネジを締め付ける際は、電線の収まりに注意し、無理のないよう締め付けて下さい。

無理に締め付けすぎると、本体が変形してフタの開閉に支障をきたしたり、カバー部が外れやすくなるなど、製品の商品価値を損ねる場合があります。

4)カバー部「上」を天側にしてケース部に取付けて下さい。

ケース4隅の凸部を、カバーの凹部にしっかりとかみ合わせてください。また、コネクタが奥までかみ込むようにカバー部右2隅をしっかりと押し付けて下さい。都合が不十分だとカバー部が外れたり、誤動作のおそれがあります。

5)カバー部取外し時は、コントローラ下部の差込口に㊟ドライバを差込み、カバー部側にこじって下さい。(図1、図5、写真1)

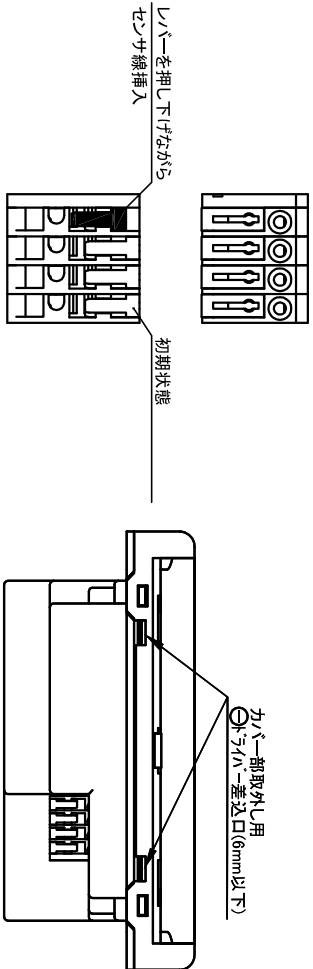


図4 センサ用端子台

図5 下面図

6)コントローラを壁から外さずに各ヒータの抵抗値、および各ヒータとアース間の絶縁抵抗値を測定出来ます。ピン先をチェツクロに当て、測定下さい。測定は必ずブレーカを切った上で、行ってください。端子間のメガーテストは絶対にしないで下さい。

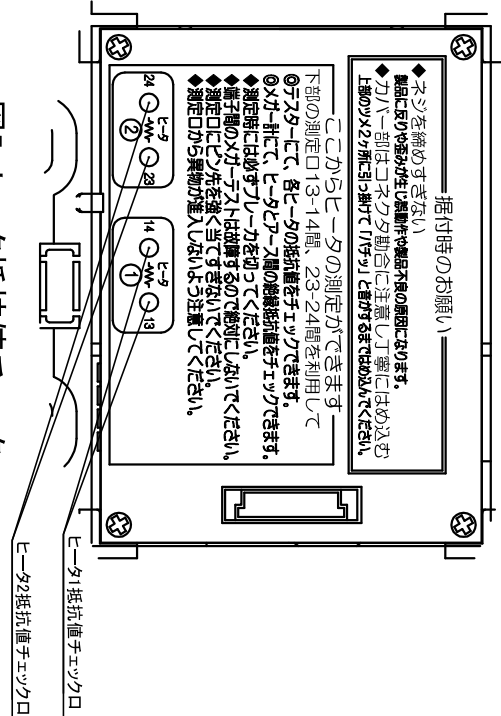


図5 ヒータ抵抗値チェツク

●配線上の注意

以下のような配線は行わないで下さい。

コントローラ故障の原因となります。[F1.2]エラーを表示して一切の運転を停止します。

- ①電源ーヒータ逆接続
- ②ヒータ回路の系統わたり配線

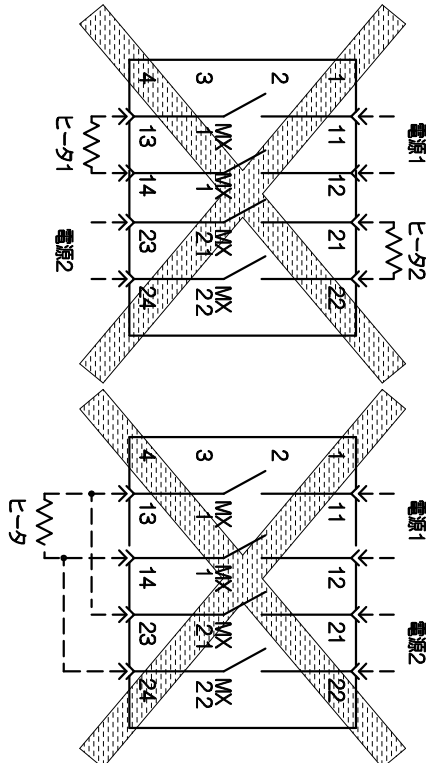


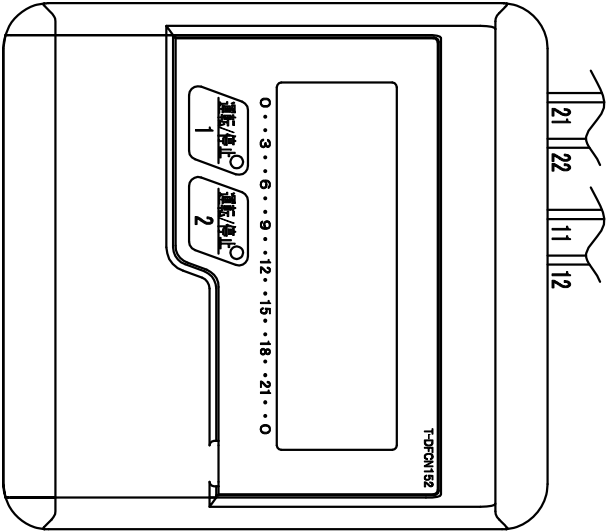
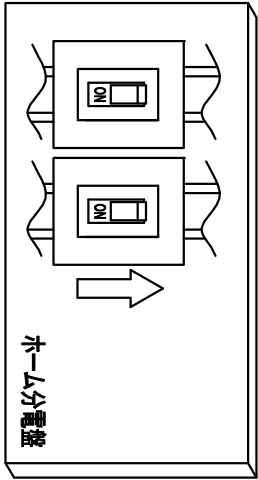
写真1 カバー取外し時風景

3. 設定

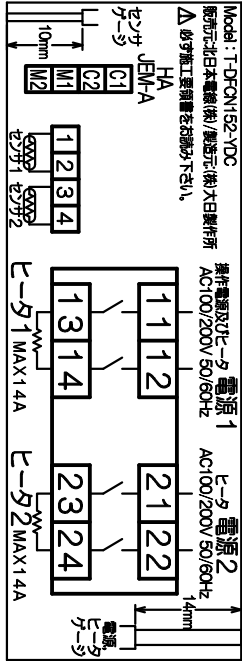
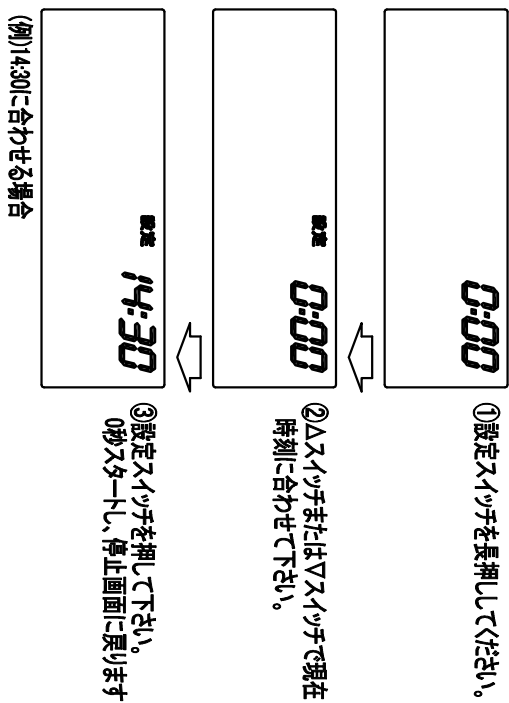
1)ヒータの絶縁抵抗が10MΩ以上であることを確認して下さい。

※10MΩ以上ない場合は配線を見直して下さい。

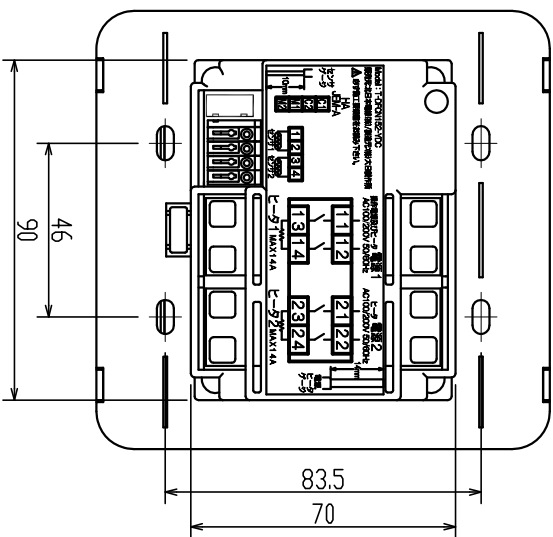
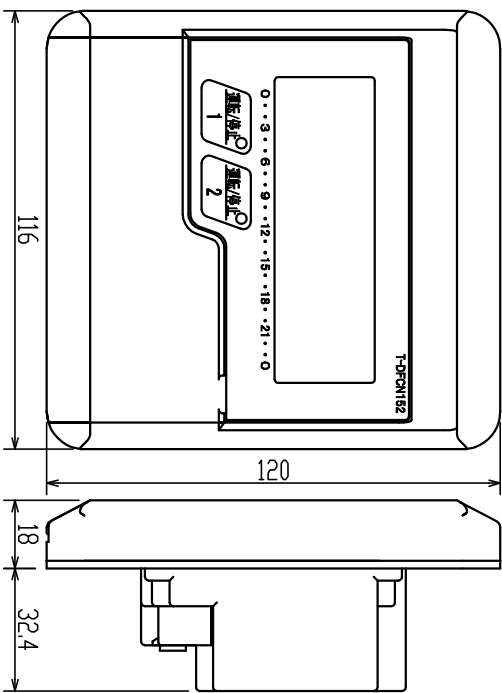
2)電源1、電源2(11、12、21、22をONに)して下さい。



3)時計設定をして下さい。



T-DFCN152-YDC接続図



外形図

販売元



ヒータインジ事業部

〒980-1761 宮城県柴田郡柴田町大字葉坂字白坂54-1

TEL (0224) 58-7259 FAX (0224) 58-7280

- 北海道支社 TEL (011) 241-4286 FAX (011) 271-7208
- 青森支社 TEL (017) 775-4151 FAX (017) 731-1341
- 岩手支社 TEL (019) 623-6650 FAX (019) 621-1400
- 秋田支社 TEL (018) 886-5489 FAX (018) 886-5549
- 山形支社 TEL (023) 641-8990 FAX (023) 627-1088
- 福島支社 TEL (024) 932-8122 FAX (024) 927-0022
- 新潟支社 TEL (025) 223-3906 FAX (025) 227-1139

製造元

